

# みんな体育指導委員のコーナーで スポーツ!

～県体育指導委員 湖南地区研修会開催～

県体育指導委員湖南地区研修会が、12月4日に今年は甲賀市で開催されました。当日は雪のちらつく寒い日となりましたが、会場となった県立陶芸の森の信楽産業展示館は湖南地区6市から130人を超える参加者の熱気で包まれました。

午前中は陶芸の森で行われ、信楽ブロックと水口ブロックからそれぞれ昨年に発足した総合型地域スポーツクラブのぼぼんた倶楽部と柏木レインボーク



● 信楽体育館での実技研修



● 陶芸の森での開会行事

ラブの事例発表が行われました。クラブ設立までの経緯や活動状況、今後の課題などについて発表され、体育指導委員が総合型地域スポーツクラブに対し意欲的に取り組んでいるようすが伝わりました。

午後は信楽体育館に移動し、気功体操を約1時間半、みっちり実技研修を行いました。呼吸法が以外に難しく、3名の先生の熱心な指導の下、参加者は真剣に取り組んでいました。

今回は地元甲賀市での開催ということで何かとたいへんでしたが、丸一日有意義な研修ができました。今後も研修を重ね、地域でのスポーツ指導に生かしていきたいと考えています。

【問い合わせ】文化スポーツ振興課  
☎ 86-8023 FAX 86-8380

## ●●●●●●●●●● 📖 みんなの窓 📖 ●●●●●●●●●●

### その気になれば**誰**でも**変**われる

昨年7月、甲賀市内で「ここから先同和地区」「この先同和地区」と書かれた部落差別落書き事件が発生しました。集落の入り口3ヶ所に分けて執拗に書かれており、同和地区あるいは同和地区住民に対する差別意識や悪意が感じられ、このような卑劣な行為は許すことはできません。そして、地区別懇談会等で継続して取り組んできたにもかかわらず、正しい理解が十分得られていなかったということが残念でなりません。

人権問題の住民意識調査の結果からは、甲賀市は同和地区に対する「ねたみ意識」が強いことがうかがえます。皆さんは同和对策事業や制度がなぜ作られているか知っていますか? 「部落差別があった」からそれをなくすための方法の一つとして事業や制度がすすめられてきているのです。それが、「誰からか聞いた話なのだが」

「はっきりしたことは知らないけど」というふうに語られたり、うわさや偏見に基づく「つくり話」として広がり、何も知らない人までが同和地区に対してねたみ意識や差別意識を強めているのではないのでしょうか。

今回の差別落書きは誰が書いたものか特定はできませんが、この人の、心の中の「ねたみ意識」が表れているようにも思われます。部落差別を支えているのは、刷り込まれた偏見や決め付け、地域社会にある「世間」という意識です。「何もしなければ差別はなくなる」という意見をよく聞きますが、どうしてもそうは思えないのです。誤った思い込みは正しい知識によってしか直せません。同和問題を正しく理解し、差別を許さないまちをみんなで作っていくために、種々の学習会に参加し、自分自身を変えてみませんか?

【問い合わせ】人権教育課 ☎86-8024 FAX 86-8380